

令和7年 第3回

いなべ市議会 定例会 報告

令和7年第3回定例会報告

報告番号	件名	備考
報告 第8号	令和6年度いなべ市健全化判断比率の報告について	
報告 第9号	令和6年度いなべ市水道事業会計資金不足比率の報告について	
報告 第10号	令和6年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率の報告について	
報告 第11号	令和6年度一般財団法人ほくせいふれあい財団決算等の報告について	
報告 第12号	令和6年度一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ決算等の報告について	
報告 第13号	専決処分の報告について（野遊びSDGs拠点（仮称）拠点棟整備工事の請負契約を変更する契約の締結）	
	以下余白	

報告第8号

令和6年度いなべ市健全化判断比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第3条第1項の規定により、令和6年度いなべ市健全化判断比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和7年9月2日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和6年度 いなべ市健全化判断比率

	令和6年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	— %	12.77 %
② 連結実質赤字比率	— %	17.77 %
③ 実質公債費比率	10.1 %	25.0 %
④ 将来負担比率	3.7 %	350.0 %

報告第9号

令和6年度いなべ市水道事業会計資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第22条第1項の規定により、令和6年度いなべ市水道事業会計資金不足比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和7年9月2日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和6年度いなべ市水道事業会計資金不足比率

	令和6年度	経営健全化基準
資金不足比率	— %	20.0%

【算出式】

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 } \blacktriangle 2,789,464 \text{ 千円} \cdots (A)}{\text{事業の規模 } 809,332 \text{ 千円} \cdots (B)} = \blacktriangle 344.6\%$$

$$\begin{aligned} (A) \text{ 資金の不足額} &= \text{流動負債額 } 536,034 \text{ 千円} - \text{控除企業債 } 232,596 \text{ 千円} \\ &\quad - \text{流動資産額 } 3,092,902 \text{ 千円} \\ &= \blacktriangle 2,789,464 \text{ 千円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (B) \text{ 事業の規模} &= \text{営業収益 } 809,332 \text{ 千円} - \text{受託工事収益 } 0 \text{ 千円} \\ &= 809,332 \text{ 千円} \end{aligned}$$

※ 資金不足比率が0以下のため、資金不足は発生していない。

※ 資金不足比率が20%以上となった場合には、経営健全化計画を策定し、経営改善に取り組まなければならない。

※ 令和5年度いなべ市水道事業会計資金不足比率＝▲352.8%

報告第10号

令和6年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第22条第1項の規定により、令和6年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和7年9月2日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和6年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率

	令和6年度	経営健全化基準
資金不足比率	— %	20.0%

【算出式】

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 } \blacktriangle 1,440,358 \text{ 千円} \cdots (A)}{\text{事業の規模 } 625,814 \text{ 千円} \cdots (B)} = \blacktriangle 230.2\%$$

$$\begin{aligned} (A) \text{ 資金の不足額} &= \text{流動負債額 } 990,219 \text{ 千円} - \text{控除企業債 } 770,468 \text{ 千円} \\ &\quad - \text{流動資産額 } 1,660,109 \text{ 千円} \\ &= \blacktriangle 1,440,358 \text{ 千円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (B) \text{ 事業の規模} &= \text{営業収益 } 625,814 \text{ 千円} - \text{受託工事収益 } 0 \text{ 千円} \\ &= 625,814 \text{ 千円} \end{aligned}$$

※ 資金不足比率が0以下のため、資金不足は発生していない。

※ 資金不足比率は、セグメント（公共・農集）ごとに単位未満での四捨五入により算出しているため、下水道事業合算の決算数値とは一致しないことがある。

※ 資金不足比率が20%以上となった場合には、経営健全化計画を策定し、経営改善に取り組まなければならない。

※ 令和5年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率＝▲238.5%

報告第11号

令和6年度一般財団法人ほくせいふれあい財団決算等の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により一般財団法人ほくせいふれあい財団の経営状況について、次のとおり報告する。

令和7年9月2日提出

いなべ市長 日 沖 靖

- 1 令和6年度事業状況報告書及び収支決算書
- 2 令和7年度事業計画書及び収支予算書

一般財団法人ほくせいふれあい財団

令和6年度事業状況報告書及び収支決算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和7年度事業計画書及び収支予算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

令和6年度事業状況報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和6年度は、法改正による財団法人から一般財団法人に移行し12年目となり、青川峡キャンピングパークは開設から22年目を迎えた。

アウトドア関連業界では、近年のキャンプブームが一旦落ち着き、他のレジャーに人が流れたことや、物価の高騰、レジャー活動の減退により、全国的に経営の悪化状況が続いている。

事業収入は131,093千円と前年対比で89%、入場者数は28,756人と前年対比82%でいずれも前年比減となった。

主な要因としては、キャンプブームが落ち着き、平日のテント泊が減少したこと、場内防水ブロックの設置により水辺サイトのサイト数が減少したこと、青川の河川工事のため長期間にわたり水辺サイトがフル稼働できなかったことなどが挙げられる。また、夏期の週末及び3連休等の繁忙期に雨天の日が多かったことにより全体的に稼働率が下がり前年比減の要因となった。

新たな取組として、デジタル清掃作業マニュアルを導入し、これまでは新人には先任者からの口頭伝達によって作業指導をしていたが、これにより清掃作業が標準化され、サービスの向上が図られた。また、当マニュアルの導入に合わせ、清掃作業の内容を見直し、時間や人手のかかる工程を洗い出すなど作業手順や人員配置を見直すことで効率的に清掃作業が行えるようになり、作業時間の短縮及び人員の効果的な配置により人件費の抑制に繋げることができた。

また、従業員間の連絡事項やスケジュール管理についても、スマートフォン、パソコンを活用したデジタル化に移行した。これにより伝達忘れ、聞き間違いによる伝達ミス、一部の従業員しか把握していないといった事案が大幅に減少され、従業員間での伝達事項がよりスムーズかつ確実に全員に周知できるようになった。

オープン時からこれまで、改修を繰り返して使用してきた予約システムを一新し、スマートフォンから容易に予約、変更、キャンセルの操作が可能となり、今まで以上にスムーズに予約を受けられるようになった。予約内容や変更履歴が確認できるようになり、従来の予約受付書などの郵送物を廃止することで、郵送コストの大幅な削減に繋がった。

施設面においては、21年が経過し、老朽化や経年劣化が目立ってきた。センターハウス屋根の全面改修及びビニールハウスの全面張替えの大規模修繕を行った。

公園管理事業として、いなべ市と締結した青川公園管理委託契約により、年間を通して樹木の管理及び清掃、遊具の保守管理や点検、修繕などを実施した。

令和6年度収支決算書
正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(合 算)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	607,486	282,887	324,599
基本財産受取利息(注1)	607,486	282,887	324,599
②事業収益	131,092,649	202,876,152	△ 71,783,503
指定管理料収入	0	47,300,000	△ 47,300,000
温泉利用料収入	0	6,620,290	△ 6,620,290
施設利用料収入	21,324,527	24,249,020	△ 2,924,493
トレーニング利用料収入	0	57,100	△ 57,100
オートキャンプ収入	23,987,239	26,791,125	△ 2,803,886
かもしかキャンプフィールド収入	1,784,750	2,115,428	△ 330,678
コテージ等収入	60,444,050	65,384,033	△ 4,939,983
炭火焼ハウス収入	2,886,195	2,507,250	378,945
売店収入	13,686,027	17,944,607	△ 4,258,580
あじさいの店収入	0	631,713	△ 631,713
レンタル収入	3,393,626	3,854,144	△ 460,518
キャンセル料収入	1,589,635	2,963,500	△ 1,373,865
その他の収入	1,996,600	2,457,942	△ 461,342
③雑収入	33,942	1,199	32,743
受取利息	30,370	1,199	29,171
雑収入	3,572	0	3,572
経常収益計	131,734,077	203,160,238	△ 71,426,161
(2) 経常費用			
①事業費	143,278,871	194,703,577	△ 51,424,706
事業原価	9,724,244	11,442,106	△ 1,717,862
期首棚卸高	9,446,366	8,421,621	1,024,745
売店仕入	9,881,830	12,301,769	△ 2,419,939
あじさいの店仕入	0	165,082	△ 165,082
期末棚卸高	△ 9,603,952	△ 9,446,366	△ 157,586
役員報酬	2,337,500	4,751,500	△ 2,414,000
給与手当	50,706,024	64,563,841	△ 13,857,817
臨時雇賃金	2,649,879	4,090,691	△ 1,440,812
退職金	600,000	1,010,000	△ 410,000
法定福利費	7,516,534	8,466,564	△ 950,030
福利厚生費	3,742,936	7,335,075	△ 3,592,139
旅費交通費	593,066	473,661	119,405
通信運搬費	1,675,868	2,034,690	△ 358,822
諸謝費	32,531	36,740	△ 4,209
減価償却費	11,968,271	9,368,301	2,599,970
賃借料	2,006,780	2,381,625	△ 374,845
保険料	550,986	606,558	△ 55,572
修繕費	1,257,630	9,768,923	△ 8,511,293
水道光熱費	10,076,885	16,959,056	△ 6,882,171
消耗品費	12,751,939	12,905,541	△ 153,602
租税公課	3,982,182	6,349,147	△ 2,366,965

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
負 担 金	56,250	56,250	0
印 刷 製 本 費	611,185	1,191,245	△ 580,060
広 告 宣 伝 費	1,431,313	1,926,378	△ 495,065
支 払 手 数 料	2,610,052	2,777,600	△ 167,548
諸 会 費	89,275	89,727	△ 452
新 聞 函 書 費	45,762	20,956	24,806
車 両 費	1,059,866	2,392,613	△ 1,332,747
委 託 費	13,811,150	21,481,136	△ 7,669,986
イ ベ ン ト 費	1,390,763	2,223,653	△ 832,890
②管理費	1,375,547	1,952,778	△ 577,231
役 員 報 酬	837,500	1,023,500	△ 186,000
給 与 手 当	172,713	480,675	△ 307,962
法 定 福 利 費	69,198	145,519	△ 76,321
福 利 厚 生 費	12,719	22,612	△ 9,893
通 信 運 搬 費	8,421	9,742	△ 1,321
水 道 光 熱 費	50,637	49,380	1,257
租 税 公 課	42,394	26,075	16,319
負 担 金	18,750	18,750	0
支 払 手 数 料	715	275	440
委 託 費	162,500	176,250	△ 13,750
経 常 費 用 計	144,654,418	196,656,355	△ 52,001,937
当 期 経 常 増 減 額	△ 12,920,341	6,503,883	△ 19,424,224
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
固 定 資 産 除 却 損	0	2,092,645	△ 2,092,645
寄 付 金	0	47,170,203	△ 47,170,203
回 数 券 払 戻 損	0	3,961,600	△ 3,961,600
経 常 外 費 用 計	0	53,224,448	△ 53,224,448
当 期 経 常 外 増 減 額	0	△ 53,224,448	53,224,448
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 12,920,341	△ 46,720,565	33,800,224
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	72,000	72,000	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 12,992,341	△ 46,792,565	33,800,224
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	193,081,739	239,874,304	△ 46,792,565
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	180,089,398	193,081,739	△ 12,992,341
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	180,089,398	193,081,739	△ 12,992,341

(注1) 基本財産受取利息

	当 年 度	前 年 度
受 取 利 息	550,000	300,000
償却原価法による償却費	57,486	△ 17,113
	<u>607,486</u>	<u>282,887</u>

財 産 目 録
令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
資 産 の 部			
流動資産			
現金（現金手許有高）	466,733		
預 金	37,656,805		
普通預金／三十三銀行 阿下喜支店	24,618,878		
普通預金／百五銀行 阿下喜出張所	4,107,648		
普通預金／桑名三重信用金庫 阿下喜支店	456,095		
振替口座／ゆうちょ銀行 名古屋貯金事務センター	7,852,724		
普通貯金／三重北農業協同組合 阿下喜支店	621,460		
未収入金（施設利用料 他）	6,454,340		
棚卸資産（売店商品 他）	9,603,952		
前払費用（飲食店営業許可会費 他）	179,470		
仮 払 金（リサイクル預託金）	54,080		
流動資産合計		54,415,380	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券（第374回利付国債）	49,275,889		
基本財産合計	49,275,889		
その他固定資産			
建物（炭焼棟 他）	21,848,649		
建物附属設備（電気工事 他）	18,417,545		
構築物（植栽工事 他）	33,124,333		
機械装置（コンボ 他）	1,282,368		
車両運搬具（ハイゼットダンプ 他）	10		
工具器具備品（監視カメラ 他）	4,564,295		
建設仮勘定（焼却炉基礎工事）	451,000		
ソフトウェア（予約システム）	1,407,084		
電話加入権	20,000		
長期前払費用（炊事棟負担金）	435,542		
その他固定資産合計	81,550,826		
固定資産合計		130,826,715	
資産合計			185,242,095
負 債 の 部			
流動負債			
未払金（未払給与 他）	5,080,697		
未払法人税等（当期確定額）	72,000		
流動負債合計		5,152,697	
負債合計			5,152,697
正味財産合計			180,089,398

令和7年度事業計画書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

青川峡キャンピングパークは開設から23年目を迎える。

令和2年1月に国内で初めて感染者が報告された新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は、今までに類を見ない状況となり、この間キャンプ業界は大きく変動した。令和5年5月の感染症法上の5類感染症への移行により一応の収束をみることができたが、社会状況が大きく変わっており変化に対応できる運営が必要となる。

市内では、おとしに「Nordisk Hygge Circles UGAKEI」、昨年には「いなべ阿下喜ベース」がオープンし、農業公園では野遊びSDGs拠点（仮称）がオープンに向けて準備が進められている。

こうした状況の中、「アウトドアシティいなべ」の一端を担うキャンプ場として、にぎわいの森で開催される OUTDOOR PLAY や OUT BURN、TOJ など市内イベントへの出展、県外のアウトドア関連イベントにも積極的に出展し、観光PR活動を行うとともに、新たなキャンパーの掘り起こしを行う。

また、これまでと同様、メインターゲットである子ども連れのファミリー層の利用満足度を高め、安全安心で快適な利用環境を提供する従来の方針をより太く継続していくとともに、「学び」や「自然とのふれあい」の機会を増やし、体験を通じて満足感を感じてもらい「成長」を体感できる施設として繋げていくこととする。

また、施設の老朽化対策を強化する必要があるため、現在の利用者ニーズに沿った質の高い清潔で快適な利用空間を提供するべく、リニューアルとリノベーションを進める。

さらに、当キャンプ場にとって最大の魅力であり生命線である、青川の環境維持については、引き続き三重県、いなべ市と協議し、場内へ安定的に川水が供給できる水路の確保及び青川の安全性と遊べる水場の確保に努める。

【運営の柱】

- (1) アウトドアブームの終了に伴う新たなレジャー、観光客の集客の取組
- (2) オリジナル、オンリーワンの追求
- (3) 老朽化施設、設備の修理と更新（バージョンアップ）
- (4) 人員不足の解消、スタッフのスキルアップ
- (5) 河川環境の維持
- (6) いなべ市、三重県との連携
- (7) 市内施設、市内イベントとの連携
- (8) PRと集客
- (9) 青川ブランドの確立と伝統づくりの推進
- (10) 運営計画の作成及び長期整備の実施

令和7年度 青川峡キャンピングパーク 収入予算明細書

(単位：千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 収入の部			
1 事業収入			
施設利用収入	33,000	36,000	△ 3,000
オートキャンプ収入	33,500	36,500	△ 3,000
コテージ収入	21,000	21,500	△ 500
アイランドコテージ収入	20,000	21,500	△ 1,500
ログハウス収入	7,300	7,800	△ 500
ログキャビン収入	7,700	8,200	△ 500
トレーラーキャビン収入	3,100	3,300	△ 200
CABIN'Gサイト収入	17,500	18,500	△ 1,000
かもしかC F収入	5,600	5,200	400
炭火焼ハウス収入	4,200	3,600	600
売店収入	21,000	22,000	△ 1,000
レンタル収入	4,400	4,800	△ 400
イベント収入	2,300	1,900	400
キャンセル料収入	1,200	2,400	△ 1,200
その他収入	1,000	1,200	△ 200
計	182,800	194,400	△ 11,600
2 基本財産運用収入			
利息収入（国債）	190	290	△ 100
計	190	290	△ 100
3 雑収入			
受取利息	1	1	0
雑収入	9	9	0
計	10	10	0
当期収入合計（A）	183,000	194,700	△ 11,700
前期繰越収支差額	0	0	0
収入合計（B）	183,000	194,700	△ 11,700

令和7年度 青川峡キャンピングパーク 支出予算明細書

(単位：千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
II 支出の部			
1 事業費			
事業原価			
仕入高	12,000	14,000	△ 2,000
計	12,000	14,000	△ 2,000
2 管理費			
人件費			
役員報酬	4,000	4,000	0
給与手当	65,000	70,000	△ 5,000
退職手当引当金	400	400	0
法定福利費	7,200	7,000	200
福利厚生費	4,400	4,300	100
臨時雇賃金	4,200	4,800	△ 600
人件費 計	85,200	90,500	△ 5,300
経費			
旅費交通費	380	300	80
通信運搬費	1,000	1,700	△ 700
諸謝費	50	100	△ 50
保険料	650	700	△ 50
水道光熱費	11,500	12,500	△ 1,000
消耗品費	11,000	12,000	△ 1,000
租税公課	9,500	10,500	△ 1,000
負担金	100	200	△ 100
印刷製本費	800	1,100	△ 300
広告宣伝費	1,800	2,200	△ 400
支払手数料	2,700	3,000	△ 300
諸会費	100	100	0
新聞図書費	100	100	0
車両関連費	1,200	1,500	△ 300
委託費	16,500	18,000	△ 1,500
イベント費	2,000	2,000	0
修繕費	2,400	2,800	△ 400
賃借料	2,100	2,200	△ 100
経費 計	63,880	71,000	△ 7,120
計	149,080	161,500	△ 12,420
3 固定資産取得支出			
その他の固定資産			
建物	10,000	15,000	△ 5,000
建物附属設備	2,500	2,700	△ 200
構築物	2,000	2,000	0
機械装置	1,000	700	300
工具器具備品	1,000	1,000	0
ソフトウェア	600	1,000	△ 400
車両運搬具	800	500	300
計	17,900	22,900	△ 5,000
4 予備費			
予備費	100	2,000	△ 1,900
計	100	2,000	△ 1,900
当期支出合計 (C)	179,080	200,400	△ 21,320
当期収支差額 (A) - (C)	3,920	△ 5,700	9,620

報告第12号

令和6年度一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ決算等の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により一般社団法人グリーンクリエイティブいなべの経営状況について、次のとおり報告する。

令和7年9月2日提出

いなべ市長 日 沖 靖

- 1 令和6年度事業状況報告書及び収支決算書
- 2 令和7年度事業計画書及び収支予算書

一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ

令和6年度事業状況報告書及び収支決算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和7年度事業計画書及び収支予算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

令和6年度事業状況報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

いなべ市では、にぎわいの森を核とし、山辺エリアを意識した活性化事業が進められており、行政や民間を問わず、様々なプレーヤーが活発に活動しています。令和6年4月にはいなべ阿下喜ベースが開業、令和7年3月にはいなべICが開通し、阿下喜の旧市街地エリアを中心に新たな流れが生まれています。にぎわいの森も5周年を迎え、数多くのイベントを開催し、地域の方に関わりの場を提供したほか、新たな利用価値の創出や公園的機能の拡充を図り、施設の価値及び利用者満足度の向上を図りました。昨年に引き続き、観光関連事業や飲食サービス事業、商品開発事業、グリーンインフラの取組における推進支援、健康アプリの啓発といった分野での事業展開も続けてきました。

2年目を迎えた Nordisk Hygge Circles UGAKEI の飲食サービス事業においては、新プランの開発やプロモーション支援などを行ったほか、イベントや体験の支援なども行いました。

商品開発、販売の分野においては、三重県と連携した石樽茶商品の開発などを行い、市内施設やイベントのみならず、市外でも取り扱っていただきました。昨年に引き続き出店した「梅まつり」では、いなべ市観光協会と連携することで相乗効果が図られ、多くの方にご購入いただき、小売業でも成長を遂げることができました。

いなべ市のグリーンインフラに関する取組では、自然資源の調査をもとに、自然資源を活用したまちの課題解決につなげる取組（人材育成・コンテンツ開発）を実施し、自然を魅力に感じる層の増加に繋げることができました。弊社としても改めて行政や地域の方々とまちの未来や地域資源について考えることで、ともにまちづくりを推進することができたと感じています。

以下、事業別に実施状況を報告します。

- 1 ファシリティマネジメント事業
- 2 地域商社事業
- 3 地域デザイン事業
- 4 その他の事業
- 5 参考

1 ファシリティマネジメント事業

(1) 庁舎周辺管理業務

ア 管理業務

業務	作業内容	実績
外部管理業務	草取り・清掃	4,097 時間
	草刈り・剪定	160 時間
	草木処分	9,444 kg
シビックコア棟清掃業務	清掃全般	1,424 時間

イ マネジメント業務

(ア) 施設利活用の促進

デカケルわんこびより	令和6年4月28日
いなムジカ（5周年記念）	令和6年5月12日
あそべる水族館	令和6年5月18日、19日
七夕茶会	令和6年6月29日
OUT BURN	令和6年9月28日、29日
ヴェロフェスタ	令和6年10月6日
いなこねマルシェ	令和6年10月27日
あそべる水族館	令和6年11月23日、24日
ノース・コールコンサート	令和7年1月26日

(イ) 利用相談及び調整

いなムジカ	令和6年4月21日、6月9日
ラニフラスタジオ	令和6年5月5日
保護犬周知イベント	令和6年5月11日
衣球ノ森	令和6年6月2日、12月15日
北欧美術館	令和6年7月11日～30日

(ウ) 修繕・安全管理等

停電対応
ハチの罠の設置、巣の除去
雨どい清掃
散水ホースの修繕
台風時の施設内確認
除雪対応
ポケふたの設置
食肉加工屋 FUCHITEI 改装の調整
シビックコア・キッズスペースの拡充

(エ) にぎわいの森の機能強化

シーズンテーマや地域特性を踏まえた販促計画の策定
テナントとの定期面談（毎月1回）、定例会（毎月1回）の開催
テナントと共に Web マーケティングの研究と施策対応

(2) にぎわいの創出

ア 日曜マルシェ

開催：77回 出店者数：212店

レジカウント2,920件 売上額3,720,000円

イ 地域連携型イベント、ワークショップの運営

- (ア) 謎解きイベント にぎわいの森探検隊 令和6年7月4日～9月30日
- (イ) 土染め手ぬぐいと風鈴による装飾 令和6年8月1日～9月21日
- (ウ) ウォーターエリア 令和6年8月13日～24日
- (エ) いなべ楽市 令和6年9月8日
- (オ) パン祭り 令和6年11月30日
- (カ) クリスマスイベント 令和6年12月1日～27日
- (キ) 焚火の広場 令和6年12月1日～22日（土日開催）
（強風のため3日間中止）
- (ク) にぎわいの森スタンプカード 令和6年12月1日～令和7年1月16日
- (ケ) ガラガラ抽選会&餅つき大会 令和7年1月5日
- (コ) いなべ楽市 令和7年3月16日

ウ にぎわいの森利用者属性調査

- (ア) 令和6年8月下旬～10月中旬
- (イ) 令和7年1月中旬～3月末

回収数：232件

属性情報、居住地、予算、情報源、イベントニーズ等の集計、分析を行いました。

エ にぎわいの森機能強化及び集客施策

(ア) ピクニックセット貸出

inabe's Shopにおいて、ピクニックセット（レジャーシート、サンシェード、ミニテーブル、木皿など）の無料貸し出しを実施しました。

(イ) ドッグランオープンに合わせた犬連れへの訴求

各店舗で犬用に水を用意。キッチュエビオでは小型犬入店可能となり、犬連れでにぎわいの森を利用する際の規約及びドッグラン利用規約を作成しました。

(3) 地域回遊促進

ア ONSEN ガストロノミーウォーキング運営

実施日 令和7年2月23日

参加人数130人（ゲスト含む）（市内69人、市外58人、ゲスト3人）

市内商業・観光施設等への回遊の仕組みを構築支援した。

イ にぎわいの森と梅林公園との連携

実施日 令和7年2月27日～3月21日

販売数 193件

inabe's Shop店頭にて販売（平日）

梅まつりへ向かう顧客層に対し、SNSを使って訴求。入場券付のお得なセットを販売

(4) inabe's Shop 及び情報発信コーナー「31スタジオ」の運営

- ア 地域商材の紹介と販売 売上額 20,418,516 円 取引事業者約 65 者
(参考) 昨年実績：売上額 19,670,680 円
- イ 市内の情報収集及び発信
- ウ 梅まつり会場にて出店 (2月25日～3月23日)
いなべ製品の販売：5,395 点 売上額：7,417,360 円
- (5) 施設の経済波及効果測定
 - ア 2023 年度三重県内経済波及効果 2.99 億円
うち、粗付加価値誘発額 1.72 億円
うち、雇用創出効果は、雇用者所得誘発額 0.69 億円、雇用者誘発数 29 人
 - イ いなべ市観光入込客数 (うち、にぎわいの森)
 - 2018 年 431,632 人
 - 2019 年 800,542 人 (345,999 人) 5月開業
 - 2020 年 722,710 人 (363,740 人)
 - 2021 年 683,189 人 (374,491 人)
 - 2022 年 660,715 人 (357,200 人)
 - 2023 年 678,681 人 (342,408 人)
 - 2024 年 594,986 人 (337,741 人)
- (6) 山辺店舗群支援業務
 - ア MobileHUTTE(ダイハツ工業との連携開発による軽トラ用の屋台)企画進行管理
 - (ア) 試験車両 (荷箱) の管理
 - (イ) 車両 (荷箱) 運用課題等のフィードバック (市及びダイハツ工業)
 - (ウ) 新規荷箱にて9月開催のアウトドアイベントで2台連結での販売を試験運用
 - (エ) 新規荷箱開発ディレクション (開発事業者への情報フィードバック)
 - イ 実証運用
年間 27 回運用
市外：名古屋モーターサイクルショー、メーテレどで祭、もしも FES 名古屋等
市内：One 大安レクリエーション、各キャンプ場等
- (7) まちづくり支援
 - ア 東海地区イベント 3 回
 - GO OUT JAMBOREE2025 (愛知) 令和6年4月12日～14日
 - Hygge with Nordisk (静岡) 令和6年9月21日～22日
 - sotosotodays market (山梨) 令和6年10月19日～20日
 - イ 関東地区イベント 1 回
 - TOKYO OUTDOOR SHOW (千葉) 令和6年6月28日～30日
- (8) 健康アプリいなべの啓発業務
キャンペーン景品対応 26 種類 総数 147 件の景品を準備
計 15 事業者から景品提供依頼を行った (昨年：10 事業所)
- (9) 宇賀溪関連事業
Nordisk Hygge Circles UGAKEI レストラン サービス提供 (令和7年3月契約終了)

いなべ市主催トレイルランニング開催支援（2回）

体験コンテンツ等の提供

(10) 新規事業開発

ア 梅林公園新施設事業スキーム検討

イ SNS マーケティング体制構築（アカウント準備、運用ロードマップ作成）

ウ グリーン・ツーリズム推進地区価値創造支援事業（国費 10 割補助）

(ア) インバウンド誘客体制構築事業（在京ランドオペレーターファムトリップ）

(イ) 企業及び学校等の団体誘客体制構築事業（団体受入プラン検討・体験試行）

(ウ) 関西及び名古屋圏域までの中間層誘客体制構築事業（モデルツアー実施）

(エ) 梅まつり来訪者地域誘客体制構築事業（ライナーバス・予約システム実証運行）

2 地域商社事業

(1) 地域資源を活かした商品開発・販路開拓

ア 山辺商品開発支援業務

連携事業者選定、レシピ開発支援、イベント出展、Web での PR 記事掲載等を実施

(ア) ご当地ほりにし×デンソー大安製作所 オリジナルメニュー開発

(イ) ご当地ほりにし×フジハブ オリジナルメニュー開発

(ウ) ご当地ほりにし甲子園 2024 出場

イ 石樽茶 P R 支援業務

県及び石樽地区茶農家 4 事業者と連携し「石樽茶詰合せセット」商品の開発支援

(ア) 販路開拓：市内外 15 店舗

(イ) プロモーションイベントへの出展：「地方銀行フードセレクション 2024」出展

(ウ) プロモーションイベントの実施：inabe's Shop 前で、商品のプロモーションを兼ねた試飲会を実施（3回）

(2) 野遊び SDGs 広報業務

ア 外国人旅行者をターゲットとした記事の掲載

Tokyo Weekender 特別号「Made in Japan -2024-」

紙 20,000 部+オンライン配信 令和 6 年 6 月発刊

WEB タイアップ記事・Facebook・instagram

イ 現地旅行エージェントを対象としたセミナー開催

令和 6 年 10 月 22 日 旅行エージェント 1 社・企業 11 社・JNTO・日本観光振興協会

場所：パリ日本文化会館

ウ 海外エージェント向けウェブページ構築

英仏用サイト作成

(3) 野遊び SDGs 旅行商品造成業務

ア 外国人旅行者をターゲットとした旅行商品の造成

欧州圏のターゲットを顧客に持つ国内旅行エージェント対象のファムトリップ

開催日 令和 7 年 1 月 27 日～30 日 参加者 4 人

イ インバウンド事業体制構築

- (ア) 事業体制・事業収支・経済波及効果分析等による事業体制の検討及び解決案作成
- (イ) 先進地視察
- (ウ) コンシェルジュ育成研修
- (5) その他のツーリズム事業
 - ア いなべ、暮らしを旅するサイト運営（記事・体験コンテンツ実施）
 - イ 三重自慢の観光資源を活用した滞在価値創出支援事業
 - ウ しんきんビジネスフェア出展でのプロモーション
 - エ ツーリズム EXPO（東京）出展でのプロモーション
 - オ コペンハーゲン PR イベント・商談（三重県補助事業）
 - カ NTT 西日本ワーケーション事業受け入れ
 - キ みえガストロノミーツーリズム商談会（VISON）
 - ク 三重県観光連盟タイファムトリップ受け入れ

3 地域デザイン事業

- (1) グリーンインフラ推進基本方針に基づく会議・体制構築
 - ア グリーンインフラ資源調査
 - (ア) 第1回 大井田西部地区公園バイオネスト解体 令和6年9月19日
 - (イ) 第2回 にぎわいの森バイオネスト設置 令和6年10月12日
 - (ウ) 第3回 聖宝寺での資源調査 令和6年11月～12月
 - (エ) 第4回 東海自然歩道調査 令和7年1月
 - イ 自然資源活用コンテンツ創出のための準備
 - (ア) 第1回 「未来編集 Lab.」意見交換会（23人） 令和6年5月18日
 - (イ) 第2回 「夜空と本と過ごす日」実施に向けた意見交換会（7人）
令和6年7月11日、18日
 - (ウ) 第3回 「川であそぶ日」実施に向けた意見交換会及び安全管理研修（18人）
令和6年8月24日
 - (エ) 第4回 「火を囲む日」実施に向けた意見交換会及び安全管理研修（20人）
令和6年10月21日
- (2) グリーンインフラ推進支援
 - ア リスクマネジメント研修
 - (ア) 年齢別事故予防のポイント （26人）
 - (イ) 川の安全対策 （29人）
 - (ウ) 山・キャンプの安全対策 （22人）
 - (エ) 体験活動事故予防（体験活動セーフティリーダー資格取得）（延人数46人）
 - (オ) 小児の応急手当て（緊急性の低い傷病の処置） （22人）
 - (カ) 先進地視察、運営者研修 （4人）
 - イ 自然資源活用コンテンツ創出
 - (ア) InabeGreenLab.2024「シンポジウム」 （100人）
 - (イ) InabeGreenLab.2024「夜空と本と過ごす日」 （80人）

(ウ) InabeGreenLab. 2024 「川であそぶ日」 (300 人)

(エ) InabeGreenLab. 2024 「火を囲む日」 (200 人)

4 その他事業

- (1) 摂南大学フィールド型アクティブラーニング受入
- (2) BASE LAUNCH MIE@三重テラス出演
- (3) ニッポンおふろ元気プロジェクト支配人養成講座講演
- (4) 第5回サステナブルブランド StudentAmbassado ブロック大会
- (5) 星空未来キャンプ
- (6) 摂南大学ラジオ番組出演
- (7) 視察対応 19 件
- (8) 市内小中学校 (フィールドワーク・授業) 対応 8 件

5 参考 受賞歴

- (1) 地域プロモーションアワード 2022 ふるさとパンフレット大賞「優秀賞」
- (2) 第12回地域再生大賞 優秀賞受賞
- (3) 第8回環境省グッドライフアワード 審査員特別賞「SDGs ビジネス賞」受賞
- (4) 地方創生☆政策アイデアコンテスト 2020 優秀賞

令和6年度収支決算書

令和6年4月1日

令和7年3月31日

<収入の部>

(単位：円)

科目	当年度	前年度	前年度との比較	備考
業務受託収入	69,229,650	65,088,375	4,141,275	
補助金収入	39,083,000	10,020,500	29,062,500	いなべ市運営補助金、グリーンツーリズム推進地区価値創造事業、海外ビジネス展開支援、伊勢茶展開事業
宇賀溪事業収入 ショップ除く	11,589,143	23,391,353	△ 11,802,210	
その他自主事業収入	31,650,597	24,085,396	7,565,201	小売、ツーリズム
雑収入	135,994	155,207	△ 19,213	利息、視察資料
保険金収入	12,300	0	12,300	イベント時怪我保険金
収入合計	151,700,684	122,740,831	28,959,853	
前年度繰越金	4,531,690	1,298,625	3,233,065	
合計	156,232,374	124,039,456	32,192,918	

<支出の部>

科目	当年度	前年度	前年度との比較	備考
商品仕入	23,667,253	27,239,181	△ 3,571,928	inabe's Shop、イベント
広告宣伝費	2,559,213	3,402,060	△ 842,847	プロモーション事業、野遊びSDGs広報事業
販売促進費	343,916	88,345	255,571	オリジナル商品顧客開拓
会場借上料	2,201,606	944,638	1,256,968	イベント会場借上料
役員報酬	3,000,000	0	3,000,000	代表理事報酬
給与手当	28,850,379	30,366,211	△ 1,515,832	職員5人、アルバイト、市派遣職員手当
賞与	7,178,300	5,467,258	1,711,042	
雑給	143,226	0	143,226	臨時アルバイト給料
外注費	39,588,070	22,420,209	17,167,861	施設管理、プロモーション、野遊び事業
法定福利費	8,971,812	7,222,439	1,749,373	厚生年金、健康保険、雇用保険、市職員負担金
減価償却費	100,337	817,055	△ 716,718	冷蔵ショーケース
消耗品費	12,880,318	3,579,267	9,301,051	補助金事業備品
旅費交通費	3,017,464	2,089,655	927,809	通勤手当、出張旅費
租税公課	129,800	122,000	7,800	印紙代
交際接待費	224,696	882,600	△ 657,904	出張土産
保険料	1,358,980	1,279,500	79,480	事業活動包括保険、中退共掛金
通信費	1,591,212	1,241,210	350,002	電話、システム、切手
諸会費	106,478	33,478	73,000	観光協会、商工会、クレジットカード
車両関係費	249,846	422,905	△ 173,059	ガソリン代
貸倒繰入額	45,814	13,648	32,166	
会議費	98,958	167,102	△ 68,144	会議用会場費、昼食費
リース料	1,338,500	2,607,000	△ 1,268,500	軽トラリース
保守管理費	30,000	30,000	0	WOSH保守プラン
雑費	1,295,530	1,005,918	289,612	
研修費	41,819	33,407	8,412	視察、資格講習
報酬料金	1,156,000	816,000	340,000	会計士顧問料、社労士報酬
設備備品引当金繰入	5,000,000	5,000,000	0	
雑損失	10,000	964,480	△ 954,480	イベント時怪我見舞金
法人税、住民税及び事業税	3,071,400	1,252,200	1,819,200	
支出合計	148,250,927	119,507,766	28,743,161	
期末繰越利益剰余金（繰越金）	7,981,447	4,531,690	3,449,757	
支出計	156,232,374	124,039,456	32,192,918	

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
業務受託収入	69,229,650	
補助金収入	39,083,000	
自主事業収入	43,239,740	151,552,390
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	1,765,971	
10%仕入高	5,327,220	
8%仕入高	13,916,219	
外注費	4,339,733	
合計	(25,349,143)	
期末棚卸高	1,681,890	23,667,253
売上総利益		(127,885,137)
【販売費及び一般管理費】		
広告宣伝費	2,559,213	
販売促進費	343,916	
会場借上費	2,201,606	
役員報酬	3,000,000	
給料手当	28,850,379	
賞与	7,178,300	
雑給	143,226	
外注費	39,588,070	
法定福利費	8,971,812	
減価償却費	100,337	
消耗品費	12,880,318	
旅費交通費	3,017,464	
租税公課	129,800	
交際接待費	224,696	
保険料	1,358,980	
通信費	1,591,212	
諸会費	106,478	
車両関係費	249,846	
貸倒繰入額	45,814	
会議費	98,958	
リース料	1,338,500	
保守管理費	30,000	
雑費	1,295,530	
研修費	41,819	
報酬料金	1,156,000	
設備備品引当金繰入	5,000,000	121,502,274
営業利益		(6,382,863)
【営業外収益】		
受取利息	22,406	
雑収入	113,588	135,994

科 目		金	額
			円
【営業外費用】			
雑損失		10,000	10,000
	経常利益		(6,508,857)
【特別利益】			
保険金収入		12,300	12,300
	税引前当期純利益		(6,521,157)
	法人税、住民税及び事業税		3,071,400
	当期純利益		(3,449,757)

貸借対照表

令和 7 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 51,542,621】	【流動負債】	【 16,111,253】
現金及び預金	11,500,538	買掛金	1,592,653
売掛金	35,022,768	クレジット未払費用	260,235
商品	1,681,890	未払費用	9,218,186
仮払金	3,546,885	未払消費税等	101,600
未収入金	540	預り金	2,492,979
貸倒引当金	△210,000	法人税等充当金	2,445,600
【固定資産】	【 350,079】	【引当金】	【 17,800,000】
(有形固定資産)	(200,079)	設備備品引当金	10,000,000
車輜運搬具	4	修繕引当金	7,800,000
工具器具備品	200,075		
(投資その他の資産)	(150,000)	負債の部合計	33,911,253
保証金	150,000		
		資本の部	
		【株主資本】	【 17,981,447】
		(資本金)	(10,000,000)
		基金	10,000,000
		(利益剰余金)	(7,981,447)
		繰越利益剰余金	7,981,447
		純資産の部合計	17,981,447
資産の部合計	51,892,700	負債及び純資産の部合計	51,892,700

令和7年度事業計画書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

いなべ市は、現在、市内回遊促進、農業・商業振興、生業支援、移住促進、市民協働促進、持続可能なまちづくりといった課題に直面しています。また、人口減少や激しさを増す社会変化への柔軟な対応が求められています。これらの多様な行政・社会課題を理解し、各行政部門と連携可能な公共性の側面と、スピードと柔軟性をベースに広く市民感覚と顧客目線を取り入れる企業性の側面を併せ持つまちづくり事業に取り組み、引き続きグリーンクリエイティブいなべを理念としたまちづくりを推進します。

弊社は、令和2年4月の設立後、今年が6期目となります。組織として順調に成長を重ね、事業規模や取扱領域が増加するにつれ、地域の住民・事業者・施設との関わりも深まり、さまざまな相乗効果が見られるようになってきました。

国内の観光需要やインバウンド施策が数多く打ち出されるなど、日本全体として観光を入口とした地域の活性化が推し進められています。いなべ市でも、東海環状自動車道いなべICが開通し、新たな施設開発を控える中、活性化の機運が一層高まっており、積極的な事業推進が求められています。また、長期的なまちづくりの方向性を示す「第3次いなべ市総合計画」の策定が進められており、本計画を見据えたまちづくりが求められています。

このような機運と変化に合わせて、いなべ市内の資源をさらに磨き上げると共に周辺自治体、企業、そして各地の志ある方々と連携し、新たな価値を創造します。

1 にぎわい事業（旧ファシリティマネジメント事業）

“にぎわいの森”を含む庁舎周辺施設の環境を良好な状態に保持するとともに、各テナントとの連携調整、利用者のニーズ把握、課題解決に取り組むことで施設の満足度向上につなげます。

今年度は、にぎわいの森開業から5年が経過し、新たな5か年に向けた目標設定と施策を進め、「にぎわい」と「地域愛着」を創出していきます。また、新たに開設される阿下喜ビジターセンターを起点とした地域回遊を生み出すため、周辺施設のハブの機能となるよう連携を図っていきます。

上記を、市民、事業者、団体等と連携し、施設の利活用促進を図りながら、上記施設の効果が広く波及するように取り組みます。

【運営の柱】

(1) 庁舎周辺管理業務

ア 庁舎周辺植栽管理・清掃管理、シビックコア棟清掃

イ マネジメント業務

(2) にぎわいの森

ア イベント、体験等によるにぎわいの創出

イ テナントとの連携した施設機能の強化

ウ にぎわいの森と今後開業予定の施設の連携体制の構築及び地域回遊促進

エ にぎわいの森ウェブサイト、SNS等での情報発信

(3) 阿下喜ビジターセンター

- ア 施設管理運営
- イ 来館者への対応
- ウ イベント等催事のサポート
- エ レンタサイクル管理

(4) inabe' s Shop

- ア 顔の見える商品販売と企画販売の強化
- イ 市内企業への出張販売
- ウ 新商品開発・販路開拓

(5) 山辺店舗群実証実験

Mobile HUTTE (ダイハツ工業との連携開発による軽トラ用の屋台)を利用した実証実験

2 地域デザイン事業 (旧地域商社事業・地域デザイン事業)

未来を見据えた持続可能な地域づくりにつながる事業を実施します。

さまざまな地域資源や人などをつなぎ、来訪者の地域回遊を促進するなど、新たな交流と人の流れを創出します。施設開発を見据えた地域誘客を促進し、連携する事業者や地域への経済効果を生み出す仕組み及び体制構築に取り組みます。

また、子育てや世代間交流など、地域課題の解決につながる事業を実施します。同時に、活躍の場の創出や学びの機会を得るための企画を実施することで、将来のまちづくりを担う人材の発掘及び育成につなげます。

これらの事業を推進するために、当社団が各種調整役を担い、発掘した人々に焦点を当て、紙媒体やWeb等といった幅広いメディアを利用しつつも、統一された世界観を持って情報発信を行います。

【運営の柱】

(1) ツーリズム事業

- ア 観光事業計画策定
- イ 観光客 (インバウンド含む) の受入体制の強化と人材育成
- ウ 旅行エージェントへの売り込み
- エ 着地型商品の開発
- オ 三重県事業との連携
- カ 研修旅行及び教育旅行等の商品開発と受け入れ
- キ 観光のプロモーション及びサイト・SNS 運営

(2) 生業、移住、子育てなどをテーマとしたイベント・企画の実施

- ア グリーンインフラ事業の支援
- イ まちづくり会議の開催
- ウ 学びの機会となる講座やイベント、体験型ワークショップの開催

(3) GCI のブランディング・デザイン・プロモーションコントロール

- ア 各テーマに沿った媒体制作
- イ まちづくりのポータルサイトの運営

(4) 商品開発・販路開拓における価値向上支援

地域商材のブラッシュアップ等

(5) まちづくりの調査・研究

ア まちづくりに関する情報の収集及び研究

イ 人材育成のための研修

3 地域イノベーション事業

いなべ市の持続的な発展のため、本事業では地域の潜在的な活力を引き出し、既存の地域資源と多様な人材を最大限に活用した、新たな事業の創造を目指します。また、先進的な技術や斬新なアイデアを積極的に導入・融合させ、いなべ市ならではの新たな価値創造を推進します。

現在梅林公園で開発が進められている新施設を核に、人口減少や高齢化、環境問題といった地域課題の解決に向け、企業や団体、行政、そして市民がそれぞれの知恵や資源を持ち寄り連携するためのプラットフォームを構築し、持続可能な社会の実現に貢献するビジネスモデルを積極的に活用し、地域課題の解決と新たな産業の育成を両輪で進めます。

同時に、いなべ市が有する豊かな自然、歴史、文化、伝統工芸、農林水産物といった地域資源の新たな活用方法を探求します。これらの資源と外部の知識や技術、アイデアを結びつけることで、高付加価値な商品やサービス、体験プログラムを開発し、地域経済の活性化に貢献します。特に、市外の企業や研究機関との連携を強化し、オープンイノベーションを推進することで、地域内だけでは生まれにくい革新的な事業を創出します。

【運営の柱】

(1) 地域資源の活用と新事業の創出支援

ア 地域資源調査・分析

イ 新商品・サービス・体験プログラム開発支援

ウ 地域事業者連携

(2) 地域連携とオープンイノベーションの推進

ア 地域ステークホルダー連携体制構築

イ 交流会・ワークショップ企画

ウ DX推進

(3) イノベーション人材の育成・創出

ア イノベーション人材発掘・育成

イ 若年層育成支援

令和7年度収支予算書

令和7年4月1日

令和8年3月31日

(単位：千円)

<収入の部>

科目	当年度	前年度	増減	備考
業務受託収入	100,760	75,300	25,460	
補助金収入	36,000	8,000	28,000	いなべ市
宇賀溪事業収入	0	25,000	△ 25,000	
その他自主事業収入	19,800	25,000	△ 5,200	小売、ツーリズム
雑収入	150	100	50	利息、視察資料
収入合計	156,710	133,400	23,310	
前年度繰越金	7,981	4,531	3,450	
合計	164,691	137,931	26,760	

<支出の部>

科目	当年度	前年度	増減	備考
商品仕入	16,500	30,000	△ 13,500	
広告宣伝費	2,600	3,500	△ 900	プロモーション事業、野遊びSDGs広報事業
販売促進費	400	100	300	オリジナル商品顧客開拓
会場借上料	2,200	1,000	1,200	イベント会場借上料
役員報酬	3,000	0	3,000	代表理事報酬
給与手当	29,000	37,000	△ 8,000	職員5名、アルバイト、市派遣職員手当
賞与	7,600	6,740	860	
雑給	200	0	200	臨時アルバイト給与
外注費	48,000	23,000	25,000	施設管理、プロモーション等
法定福利費	9,000	9,000	0	厚生年金、健康保険、雇用保険、市職員負担金
減価償却費	100	100	0	ショップ冷蔵庫
修繕費	200	300	△ 100	看板・設備等修理
消耗品費	5,000	3,000	2,000	
旅費交通費	3,000	3,000	0	通勤手当、出張旅費
租税公課	130	140	△ 10	償却資産税、印紙
交際接待費	250	900	△ 650	出張土産
保険料	1,600	1,340	260	事業活動包括保険、中退共掛金
通信費	1,600	1,500	100	電話、システム、切手
諸会費	200	120	80	観光協会、商工会、三重県観光連盟
車両関係費	450	430	20	ガソリン代・車両管理
貸倒繰入額	100	100	0	
会議費	100	240	△ 140	会議室
リース料	1,400	1,878	△ 478	軽トラリース
保守管理費	30	30	0	WOSH保守プラン
雑費	1,000	500	500	
研修費	50	600	△ 550	視察、資格講習
報酬料金	1,200	1,000	200	会計士、社労士報酬
設備備品引当金繰入	0	5,000	△ 5,000	
特別損失	15,000	0	15,000	補助金購入資産の圧縮記帳
法人税、住民税及び事業税	3,300	1,500	1,800	
予備費	481	913	△ 432	
支出合計	153,691	132,931	20,760	
期末繰越利益剰余金（繰越金）	11,000	5,000	6,000	
支出計	164,691	137,931	26,760	

報告第13号

専決処分の報告について

(野遊びSDGs拠点(仮称)拠点棟整備工事の請負契約を
変更する契約の締結)

地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第1項の規定により議会において指定されている事項について、別紙のとおり専決処分したので同条第2項の規定により報告する。

令和7年9月2日提出

いなべ市長 日 沖 靖

処分理由

構造安全性及び防水性能の確保のための屋根の仕様変更並びに廃棄物処理量増加等のため、専決処分により、工事請負契約を変更した。

専決第4号

専 決 処 分 書

地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第1項の規定に基づき、議会の議決により指定された市長の専決処分事項について、次のとおり専決処分する。

令和7年8月8日

いなべ市長 日 沖 靖

野遊びSDGs拠点(仮称)拠点棟整備工事の請負契約について、次のとおり契約を変更する。

1 変更前の契約金額

546,546,000円

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額49,686,000円)

2 変更後の契約金額

567,822,200円

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額51,620,200円)

3 契約の相手方

三重県四日市市中浜田町1番10号

生川建設株式会社

代表取締役 生川 正洋

